

令和3年度第2回鳥取県手話施策推進協議会委員からの御意見及び回答

委員	委員からの御意見等	事務局回答等
国広	<p>(1)鳥取県版児童用手話検定「手話チャレ」について 作成会議メンバーを教えてください。また、資料の静止画ではイメージしにくく、動画での提示をお願いできませんでしょうか。さらに高校生の関わり方を詳しく知りたいと思います。</p>	<p>作成会議のメンバーは別添のとおりです。「手話チャレ」の動画は次回の協議会で御紹介します。鳥取東高校放送部の生徒に「手話チャレ」の動画編集を担当していただいています。来年度は、動画編集に関わっていただく高校を増やしたいと考えています。</p>
	<p>(2)手話通訳者等派遣件数について 2(1)「内訳の提示は困難です」とありますが、なぜなのでしょう。 2(2)（市町村事業）専任通訳者※で協会職員を含むとありますが、意味が良く分かりません。専任通訳者は全員協会職員だと思うのですが。各圏域に専任通訳者がいると理解しています。※印はどのように理解すればよいのでしょうか。</p>	<p>2(1)団体派遣においては、区別した記録を行っていないことから、内訳を提示するためには、活動報告等の書類を一件一件確認して集計する必要があり、作業の負担が大きいためです。 2(2)御指摘のとおり専任通訳者は全員鳥取県聴覚障害者協会の職員の方ですが、「専任通訳者※」には、同協会の通訳を主たる業務としない職員の方も含めています。</p>
田中	<p>前回の意見に対し、専任通訳者の件数を出していただきありがとうございました。忙しくされている中で件数を確認されるのは大変だったと思います。ありがとうございます。専任通訳者の中に、協会職員の数も入っているとの事でしたが、出来れば協会職員は登録者の方に入れて頂いた方が良かったなと思います。そこを考慮したとしても、東部センターの件数は群を抜いていますね。団体で動いた件数が入っていないとなると、総件数はかなりのものと推測されます。東部は特に聞こえない方の居住割合が高い為、需要も多いのだろうという事は想像できます。通訳は、短いものでは5～10分で終わるものもあれば2～3時間かかるものもあると思うので、簡単に件数だけでは測れませんが、相当な数であることは間違いなさそうです。この件数の中で、通訳者の健康をどう守っていくのか。専任通訳者は足りているのか。実態からの検証が出来ればと思います。</p>	<p>御助言ありがとうございます。引き続き協議会において御議論をお願いできればと考えております。</p>
	<p>手話普及支援事業について 個人的にも連絡を取った事がありましたが、手話普及支援員の方の想いが共有されていないように思います。また、支援に行く方のレベルアップ研修会がされないままのように聞きました。聞える人・聞こえない人が伝えるべきことを共有されることは指導必要ではないでしょうか。</p>	<p>毎年3月に開催している手話普及支援員情報交換会において、手話普及支援員の皆様の意見をお聴きしているところですが、本年度は新型コロナの影響により書面開催としました。現在アンケートを実施しており、質問や意見に対する回答は3月中に行う予定です。 また、手話普及支援員の業務内容については、「手話教材（手話ハンドブック等）を活用した手話の普及」「ろう者とのふれあいの場の提供」「ろう者の文化や手話についての話」等を示しており、その範囲内で個々の手話普及支援員の良さを生かして支援いただいています。加えて、昨年度の手話普及支援員情報交換会では、手話学習の一場面を視聴し意見交換するミニ授業研究を試み、好評でした。今後も手話普及支援員の皆様の声をお聴きしながら、よりよい手話学習支援に繋げていきたいと思っています。</p>

三王寺	<p>「手話チャレ」の進捗状況が分かりました。高校生や小学校の手話クラブが関わるなどの工夫があり、ますます児童・生徒の手話に関する興味や関心が高まることを期待しています。</p>	<p>御意見ありがとうございます。</p>
大塩	<p>手話チャレについて 手話ハンドブックの内容と手話チャレのレベル1～10までの内容に関連性はあるのか。次回の会議で教えていただけるとありがたい。</p>	<p>小学校1年生から楽しんで手話にチャレンジできるというコンセプトで、簡単な挨拶や動物、食べ物、人の動きや気持ち、聞こえない人の生活上の工夫など、レベルごとに内容を設定しています。単語集と問題の動画をそれぞれ作成し、単語集で勉強してから問題にチャレンジするという構成です。手話ハンドブックに含まれる内容とそうでない内容がありますが、単語集で提示する手話の一覧には、手話ハンドブックに含まれる内容に☆印を付け、併せて活用できるようにしています。</p>

鳥取県版児童用手話検定「手話チャレ」作成関係者

1 鳥取県版児童用手話検定作成会議（手話チャレの内容や方法等を検討）

所属	役職	氏名
公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会	副理事長	岡嶋 雅人
鳥取県立鳥取聾学校	教頭	楠田 和幸
鳥取県立鳥取聾学校	教諭	尾田 将史
鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校	教諭	徳岡 英一
鳥取県立鳥取聾学校	手話普及コーディネーター	田村 仁志
鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校	手話普及コーディネーター	土岐 恵理美
鳥取市教育委員会学校教育課	主幹兼指導主事	津中 忍
北栄町教育委員会教育総務課	発達支援室長兼指導主事	竹内 園美
米子市教育委員会学校教育課	担当課長補佐兼指導主事	國頭 京子
—	手話普及支援員	小谷 美紀
—	手話普及支援員	山崎 恵子
—	手話普及支援員	新井 素子

2 鳥取県版児童用手話検定ワーキンググループ（作成会議を踏まえ、手話チャレ動画を作成）

所属	役職	氏名
公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会	理事	高塚 千春
鳥取県立鳥取聾学校	教諭	尾田 将史
鳥取県立鳥取聾学校	教諭	澤田 佳菜子
鳥取県立鳥取聾学校	教諭	前島 博之
鳥取県立鳥取聾学校	教諭	中村 美月
鳥取県立鳥取聾学校	主事	齋藤 恵
鳥取県立鳥取聾学校ひまわり分校	教諭	徳岡 英一